

平成16年度

# 深渡宏村長の所信表明



「村民総参加の、活力ある、自立する村づくり」を目指し、村民の皆さんと共に努力したいと所信表明する深渡村長

普代村議会第一回定例会開催に当たり、村政運営の基本方針ならびに平成十六年度の主要施策について、所信の一端を申し述べさせていただきます。

私は、昨年五月に村民の皆さまの付託を受け、村長就任二期目を迎えました。平成十一年に村長に就任して以来、一貫して「村民総参加の、活力ある、自立する村づくり」を基本姿勢に掲げ、さまざま

な機会をとらえて村民の皆さんのご意見、ご提言をお聞きしながら、新たな村づくりに向けて全力を掲げて参りました。この間、村議会並びに村民の皆さんから賜りました数々のご厚情に対し、心より感謝申し上げます。

二十一世紀は地方分権の時代といわれています。現在、日常生活圏の拡大、高度情報化社会の進展、少子高齢化社会の到来、人口の減少など、

地方自治体を取り巻く環境が今、大きな転換期を迎えている中、これまで以上に新たな時代に対応できる、新たな地域づくりの取り組みが、幅広い視点から求められています。

地方分権の確立が叫ばれ、地方の自主性や自己改革が求められている今日、財政再建

## 生き生きとした人が育つ

# 未来ある村つくります

村政運営の基本方針について申し上げますが、村のマスタープランである「新普代村総合発展計画」の基本目標であります五つの柱について

- ①「生き生きとした人が育ち活躍している村」
- ②「地域資源を知恵と努力で活かしている村」
- ③「自然環境を活かした快適生活環境が確立している村」
- ④「住民が参画する開かれた行政を展開している村」
- ⑤「村民の気持ちが一体となつている村」

の目標実現に向け、それを基本施策として

- ①「教育・文化・社会活動・人づくり」
- ②「産業の振興」
- ③「生活環境基盤の整備」
- ④「行財政の改革」

の四本柱をメインテーマに掲げている

は緊急の課題であり、これから山積する課題に適切に対応しながら、グローバルな村づくりを理想とする「北緯四〇度の地球村」構想実現のため、村民の皆さんと共に渾身、努力してまいりたいと考えておりますので、一層のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



世代間交流、子育て支援室など子どもの居場所として活用されるふれあい交流センター

とところです。

今日の厳しい社会経済情勢の中で、村民の皆さんの英知を結集し創意と工夫を凝らし、未来に希望が見える村づくりのため一層の村政運営に努めてまいります。

## 5校体制で環境を整備

### 学校教育・幼児教育の充実

村立の小・中学校五校体制を基本とし、教育環境の整備充実、幼児・児童生徒の健全な成長と豊かな人間性をはぐくむための教育内容の充実が大切と考えます。学校の自主性に基づく特色ある学校づくりを推進するため、地域と連携した開かれた学校づくりの推進に努めてまいります。

## 地域を担う人材の育成

### 社会教育の充実・地域リーダーの育成

生涯学習の一層の推進を図り、本村の産業や保健・医療・福祉などの各分野を担う人づくりを重要課題ととらえ、地域づくりを担う意欲と実行力のある人材の育成に努めます。生涯学習事業の拠点「ふれあい交流センター」の充実や既存の公的施設の学校教育活動、社会教育活動の有効活用なども取り進めます。

(次ページに続く)